

自己評価票

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)          |
|--------------------|---|--|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |   |  |  |
| <b>1. 理念と共有</b>    |   |  |  |
| 1                  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている      | 独自理念を施設内2ヶ所（共有スペースの玄関前・ホール）に掲示している。                                  |  |
| 2                  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                         | 理念を掲示、常に心がけ介護に携わっている。  |  |
| 3                  | ○家族や地域への理念の浸透<br>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 広報・パンフレット サングリーンピア山方に掲載・理解を得られるよう取り組んでいる。                            | ○ 発行予定の施設広報紙に掲載・理解を得る取り組みを行っていく。         |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |   |  |  |
| 4                  | ○隣近所とのつきあい<br>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 納涼祭開催にて近隣の人々との交流に努めている。天気の良い日は、近所への外出を行なっている。                        | ○ 施設独自の広報紙を発行（3ヶ月1回）理解を深めてもらえるようにしていきたい。 |
| 5                  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている   | 地域の行事等に参加、地元の人々との交流の場を設けている。鳥追い祭り・そば会・運動会等、施設行事・納涼祭の開催で地元の人々との交流をもつ。 | ○ 地域老人会などの交流をしていきたい。                     |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取り組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)            |
|------------------------------|---|--|-------------------------|---|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br><br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                |  | ○                       | 家族や地域住民参加の介護教室の開催。クリーン作戦等に参加したい。            |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |  |                         |   |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br><br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         | 自己評価・外部評価にて施設の現状を把握・改善点を明らかにして、改善に取り組む。                                    |                         |   |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br><br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | 2ヶ月に1度、管理者・職員の他、市担当者・民生委員・常陸大宮市北部地域包括支援センター職員・そして家族の参加により、テーマを設け会議を実施している。 |                         |   |
| 9                            | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | 運営推進会議の実施のみ。   | ○                       | 常陸大宮市北部地域包括支援センターと連携を密にして、サービス向上に取り組んでいきたい。 |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br><br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している |  | ○                       | 権利擁護事業・成年後見制度に対する施設内での勉強会の実施。               |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br><br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている          | 高齢者虐待防止関連法のポスターの掲示にて、虐待の防止の徹底を計る。介護に対しての職員会議を設けている。                        | ○                       | 虐待防止の勉強会の実施。                                |

| 項 目                    | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |                                    |
|------------------------|---|--|---------------------------------|------------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |  |                                 |                                    |
| 12                     | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | 契約は、事務所職員が実施している。利用者・家族等に対して十分な説明を行なっている。                                | ○                               | 契約に関しても、グループホーム職員が行なえるようにする。       |
| 13                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br><br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | ケアプラン策定での意見等の聴取・ふれあいの箱の設置・日常生活での会話にて意見等を聞き、生活しやすい環境作りに反映する。だるま会における意見交換。 |                                 |                                    |
| 14                     | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている         | 面会時、また遠方の方は郵便にて随時、利用者の状況等を知らせている。月に1度手紙を家族に出している。                        | ○                               | 利用者の暮らしぶりや職員の異動等は、広報紙を作成・活用していきたい。 |
| 15                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | ふれあいの箱を設置、家族等からの意見などを運営に反映させる。家族の運営推進会議への参加を呼びかけている。                     |                                 |                                    |
| 16                     | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | 運営者・管理者の職員会議・勉強会への参加。不参加の場合、議事録等の提出を行なっている。職員個人の自己評価を実施している。             |                                 |                                    |
| 17                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br><br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 行事・職員欠員の場合、系列施設より職員の派遣を依頼、人員調整を行なっている。                                   |                                 |                                    |

| 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                               | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 最小限に抑え、退職者の補充位にしている。  | ○                      |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b>  |   |                        |                                 |
| 19 ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 認知症基礎研修は、4名の人が受けている。県社協や老施協、それ以外も必要なものは研修を受けるように努めている。        |                        |                                 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 大宮グループホームとの交流が年2～3回あります。                                      |                        |                                 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                       | 新年決起大会をはじめ年数回、バレーボールやボウリング等クラブ費の助成や県大会出場などを通し、ストレス軽減に取り組んでいる。 |                        |                                 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                           | 年1回ではあるが、年度末に自己評価をして頂き、次年度の目標を決めてもらい、それに沿って働く。                |                        |                                 |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>       |  |   |                                |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |   |                                |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 入所時、本人の話を聞く。ケアプランの作成時、本人の意見を聞く。プランにのせる。 |                                |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | 入所時、家での様子を聞く。ケアプラン作成時、家族の意向を取り入れる。      |                                |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               |   | ○ 相談を受けた時、他のサービス利用を含めた検討をする。   |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している |   | ○ 見学・体験を取り入れ、本人が馴染める様な工夫に努めたい。 |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |   |                                |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 趣味やレクレーションを通して、コミュニケーションをはかる。           |                                |

| 項 目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)        | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)               |
|-----|--|--|------------------------|---|
| 28  | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 施設に面会に来てもらったり、行事等に参加してもらい、本人の状態を見てもらう。 |                        |   |
| 29  | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             |  | ○                      | 行事等に家族の参加を呼びかけて、交流をしていく。                      |
| 30  | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 地域行事に積極的に参加している。                       |                        |   |
| 31  | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 全員でできるレクレーションなどを通じて、コミュニケーションをはかる。     |                        |   |
| 32  | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている |  | ○                      | 利用者・家族に対して引き続き行事等への参加の呼びかけ、家族に対して介護教室開催を検討する。 |

| 項 目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                 | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)          |
|---------------------------------------|---|--|--|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |  |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |  |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 本人の希望と家族の希望を聞き、介護に取り組んでいる。             |  |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 以前の生活環境を本人や家族に聞き、馴染みの暮らしに近づけるように努めている。 |  |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 生活面や健康面のチェック等。職員間の連絡。                  |  |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |  |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 自立支援に向けて、計画を立てている。                     |  |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している |  | ○ その時の状態に応じて、家族との連絡を密にし、現状に沿った今後の計画を立てる。 |

| 項 目                                |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個人記録に記入している。                    |                        |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |                                 |                        |                                 |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | ご家族と連絡を取り合い、支援をしている。            |                        |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |                                 |                        |                                 |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 必要に応じて、各関係機関等との交流をしている。         |                        |                                 |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 他のサービスは、利用していない。                |                        |                                 |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議・介護用品購入の相談・購入             | ○                      | 地域活動の情報収集をしたり、行事等に参加する。         |



| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容) | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|---------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 43  | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している  | 月1回かかりつけの病院に受診し、家族に報告している。      |                        |                                 |
| 44  | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している  | かかりつけの病院に受診している。                | ○                      | 勉強会や研修に参加していく。                  |
| 45  | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | 併設の特別養護老人ホームの看護師に相談しながら、支援している。 |                        |                                 |
| 46  | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 入院した場合退所となる為、連携していない。           |                        |                                 |
| 47  | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   |                                 | ○                      | 重度化や終末期について、家族と話し合いを持つ。         |
| 48  | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている |                                 | ○                      | 今後の変化に備えて、かかりつけ医と連携し、対応していく。    |

| 項 目                              | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)              | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|-------------------------------------|---------------------------------|
| 49                               | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | 個人記録とケアプランの提供                       |                                 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |   |                                     |                                 |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>           |   |                                     |                                 |
| (1)一人ひとりの尊重                      |   |                                     |                                 |
| 50                               | <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>                                       | 個々のプライバシーの保護をしている。                  |                                 |
| 51                               | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>                   | 個別処遇と自己決定を尊重、利用者の希望に合わせた行事を取り入れている。 |                                 |
| 52                               | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>                         | 毎日の生活の中で、どのように過ごしたいか聞いて、支援している。     |                                 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援     |   |                                     |                                 |
| 53                               | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>                                    | 地域の理・美容室に行っている。                     |                                 |

| 項 目                          |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)             | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 54                           | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている    | 毎食、一緒に摂っている。                                |                        |                                 |
| 55                           | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している           | 外食等で、本人の好きな食べ物のみ選んで頂く。                      |                        |                                 |
| 56                           | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | 排泄の記録を行い、パターンを把握し、誘導・支援を行なっている。             |                        |                                 |
| 57                           | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 1日おきに4～5人ずつ、午後入浴している。<br>(時間帯は、その都度利用者に確認。) |                        |                                 |
| 58                           | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | 昼間・夜、本人が休みたい時間に眠れるよう支援している。                 |                        |                                 |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |   |   |                        |                                 |
| 59                           | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 散歩に行き、季節を感じたり外食・ドライブ・カルタ・花札等で楽しまれている。       |                        |                                 |


| 項 目            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 60             | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | 事務所で管理している。                               |                        |                                 |
| 61             | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 天気の良い日は、日光浴・散歩を行なっている。                    |                        |                                 |
| 62             | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 冬期を除き、利用者に行きたい所を聞いて、月に1回程度外出している。         |                        |                                 |
| 63             | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 年賀状を作成し、送っている。電話は、家族からかかってきた場合、本人へも繋いでいる。 |                        |                                 |
| 64             | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 毎月の情報報告と広報紙を発行し、施設を紹介している。                |                        |                                 |
| (4)安心と安全を支える支援 |   |   |                        |                                 |
| 65             | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事務所に掲げている。                                |                        |                                 |

| 項 目 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|---------------------------------|
| 66  | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>     |                        |                                 |
| 67  | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>              |                        |                                 |
| 68  | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>        |                        |                                 |
| 69  | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>     |                        |                                 |
| 70  | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>               |                        |                                 |
| 71  | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | ○                      | 地域の人に声かけをし、参加していただく。            |

| 項 目                       |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                        | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|--|------------------------|--------------------------------|
| 72                        | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 事故が起きた際に、報告する。同様の事故が起こり得る場合には、話し合う。                    |                        |                                |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |  |  |                        |                                |
| 73                        | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 異変があった場合には、すみやかに受診している。毎日のバイタルチェックの実施。                 |                        |                                |
| 74                        | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 1人ひとりの薬の名前・量の一覧がファイルに保存してある。                           |                        |                                |
| 75                        | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 排便管理表を作成している。散歩を多く取り入れている。主治医より、下剤を処方されている方もいる。        |                        |                                |
| 76                        | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 自立者には声かけし、うがい・歯磨きを促す。それ以外は、状態に応じた介助をしている。夕食後は、義歯洗浄剤使用。 |                        |                                |
| 77                        | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 食事については、外部に委託。水分は、朝・10時・昼・3時・夕方に提供している。                |                        |                                |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)     | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| 78                             | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）   | 感染症についてのマニュアルを作成し、保管してある。           |                        |                                 |
| 79                             | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 調理用具は洗浄後、食器乾燥機を使用し、衛生管理に努めている。      |                        |                                 |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |                                     |                        |                                 |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |                                     |                        |                                 |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている                              | 玄関先の通路に手すりがあり、玄関周りにはどうだんつつじ等が植えてある。 |                        |                                 |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節ごとの作品や歌を廊下や居間に飾っている。              |                        |                                 |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | ソファや畳の空間を設け、環境作りに努めている。             |                        |                                 |

| 項 目                    |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)           | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|------------------------|---------------------------------|
| 83                     | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み<br>のものを活かして、本人が居心地よく過<br>ごせるような工夫をしている | ベッド・タンス等の家具は、備え付け。ベッドの<br>寝具は、本人のを使用している。 |                        |                                 |
| 84                     | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のだよみがないよ<br>う換気に努め、温度調節は、外気温と大き<br>な差がないよう配慮し、利用者の状況に応<br>じてこまめに行っている    | 毎日の清掃の際、換気に配慮している。                        |                        |                                 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり |   |   |                        |                                 |
| 85                     | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活か<br>して、安全かつできるだけ自立した生活が<br>送れるように工夫している                 | 廊下に手すりが設置され、バリアフリー化してい<br>る。              |                        |                                 |
| 86                     | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱<br>や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工<br>夫している                           | 家事全般を行なったりしている。                           |                        |                                 |
| 87                     | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽し<br>んだり、活動できるように活かしている                                       | 外に畑があり、利用者様と一緒に作業したり、花<br>を植えたりしている。      |                        |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  | 取り組みの成果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                                 |
|------------------|--|---|
| 項目               |  |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

畑で野菜を作ったり、花壇に花を植えたり季節感を味わい、環境美化に努めている。